

安全データシート

整理番号：sunagro-64

作成日 2016年2月12日

改定日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 高濃度液肥 240号
肥料登録番号 生第 87967号
製品名 アクアペースト 240、ハイクリア 240

会社名：全国農業協同組合連合会
担当部署：肥料農業部
住所：〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAt' 133F
電話番号：03-6271-8285
Fax番号：03-5218-2536
E-mail：zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先：03-6271-8285
推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分 1C
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 2 (呼吸器系)
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

[安全対策]

[応急措置]

[保管]

[廃棄]

危険

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

呼吸器系の損傷のおそれ

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

飲込んだ場合、口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合、直ちに汚染された衣服を全てぬぐこと。

皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合は医師に連絡すること。

施錠して保管すること。

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理 番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
尿素	～22%～	(NH ₂) ₂ CO	2-1732	既存	57-13-6
りん酸一アンモニウム	～6%～	NH ₄ H ₂ PO ₄	1-379	既存	7722-76-1
りん酸二アンモニウム	～6%～	(NH ₄) ₂ HPO ₄	1-379	既存	7783-28-0
りん酸一カリウム	～14.7%～	KH ₂ PO ₄	2-1732	既存	7778-77-0
水酸化カリウム	～6.1%～	KOH	1-369	既存	1310-58-3
水	～45.2%～	H ₂ O	—	—	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び

安定化添加物

労働安全衛生法

情報なし

名称等を通知すべき危険物及び有害物

(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

水酸化カリウム (政令番号：316) (6.1%)

(註) 本製品の水酸化カリウム含有率は、5%以上であり、

「劇物」に該当する。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、必要に応じて医師の診断を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、泡消火剤

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

情報なし

消火を行う者の保護

適切な保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項
封じ込め及び

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

乾燥土、砂や不燃材料で覆い、更にシートで飛散を防止する。

浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。

排水溝、下水溝への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

情報なし

安全取扱注意事項

使用前に使用説明書入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

接触、吸入又は飲み込みを避けること。
 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする事。
 「10. 安定性及び反応性」を参照。

接触回避
 保管

保管条件
 容器包装材料

施錠して保管すること。
 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
尿素	未設定	未設定	未設定
りん酸一アンモニウム	未設定	未設定	未設定
りん酸二アンモニウム	未設定	未設定	未設定
りん酸一カリウム	未設定	未設定	未設定
水酸化カリウム	未設定	2 mg/m ³ (最大許容濃度)	TWA -, STEL C 2 mg/m ³
水	未設定	未設定	未設定

設備対策

ハウス、温室等の施設内で使用する場合、換気を行うこと。
 本製品を取扱う作業場には、洗眼器とシャワーを設置することが望ましい。

保護具

呼吸用保護具
 手の保護具
 眼の保護具
 皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。
 適切な保護手袋を着用すること。
 適切な眼の保護具を着用すること。
 適切な顔面用の保護具を着用すること。
 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态
 形状
 色
 臭い
 比重
 pH
 融点・凝固点
 引火点
 n-オクタノール／水分配係数
 自然発火温度

液体
 液状
 茶褐色
 微臭
 約 1.36
 約 7.8
 情報なし
 情報なし
 情報なし
 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性
 化学的安定性
 危険有害反応可能性
 避けるべき条件
 危険有害な分解生成物

情報なし
 通常の保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
 情報なし
 情報なし
 情報なし

11. 有害性情報

製品として
 水酸化カリウムとして
 急性毒性：経口
 皮膚腐食・刺激性

情報なし
 priority 1 に記載されているラット、LD50 値の統計計算値が 284 mg/kg であったため、区分 3 に分類した。
 ウサギによる試験で腐食性、ヒトに対して腐食性の記載があり、

	<p>眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性</p> <p>特定標的臓器毒性 (単回ばく露)</p>	<p>国連分類クラス 8、容器等級 II に分類されていることより、区分 1B に分類した。</p> <p>ヒトに対して不可逆な障害があり、ウサギの試験で腐食性の記載あり、皮膚腐食性/刺激性の GHS 分類が区分 1B であることより、区分 1 に分類した。</p> <p>粉じん又はミストを吸入ばく露すると鼻、気管気管支に熱傷等の障害を起し、肺水腫にまで至るとの記載により、区分 1(呼吸器系)に分類した。</p>
12. 環境影響情報	<p>環境に対する有害性</p> <p>オゾン層への有害性</p> <p>生態毒性</p>	<p>製品としての情報なし</p> <p>データなし</p> <p>製品としての情報なし</p>
13. 廃棄上の注意	<p>残余廃棄物</p> <p>汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄においては、関連法規及び地方自治体の基準に従うこと。空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p>
14. 輸送上の注意	<p>国際規制</p> <p>国連番号</p> <p>国連分類</p> <p>容器等級(Packing Group)</p> <p>国内規制</p> <p>特別の安全対策</p>	<p>該当なし</p> <p>該当なし</p> <p>該当なし</p> <p>該当なし</p> <p>転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。</p> <p>食品や飼料と一緒に輸送してはならない。</p>
15. 適用法令	<p>労働安全衛生法</p> <p>毒物及び劇物取締法</p> <p>水質汚濁防止法</p> <p>海洋汚染防止法</p>	<p>名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 1、施行令第 18 条)</p> <p>名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)</p> <p>劇物「水酸化カリウムを 5% 超えて含有する製剤」</p> <p>指定物質 (法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3)</p> <p>有害でない物質(施行令別表第 1 の 2)</p> <p>有害液体物質(Y 類物質)(施行令別表第 1)</p>
16. その他の情報	<p>参考文献</p> <p>その他</p>	<p>14096 の化学商品(化学工業日報社)</p> <p>この情報は新しい知見により改訂されることがありますのでご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。化学品には予見できない有害性があるため取扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用者において行ってください。</p>

本SDSは、下記サンアグロ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	サンアグロ株式会社
住所	東京都中央区日本橋本町1丁目10番5号 日産江戸橋ビル
担当部門	生産技術部
電話番号	03-3510-3610
FAX 番号	03-3273-8432
緊急連絡先	サンアグロ株式会社 大阪工場 製造課
電話番号	06-6552-1212